

# 論壇

## 育児や介護に利用の海外

海外では、外国人の労働力を育児や介護に利用するのは当たり前のことになってきているようだ。香港で宿泊したホテルの女性従業員が、自分もフィリピンの家政婦を利用してると話しているのが印象的だった。ごく普通のホテルの従業員で、特に給与が高いわけはなさそうだ。結婚しているのご主人の収入と合わせれば家政婦を雇えるのかもしれない。

月にどれくらい払っているのかと聞いたら、4万円ほどであると言っていた。もう5年以上前の話ではあるが、それにしても安い。

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

もちろん、食事などは一緒にするので、家政婦さんは食事代などを負担する必要はない。住み込みの家政婦だということで、それほど広い家に住んでいるのかと思えば、なんと夜は風呂場に寝てもらっているという。なんとも驚いた話だが、それだから家政婦さんが雇えるのだろう。

が雇えなければ、自分は仕事を続けることはできないだろう、と言っていた。4万円というのはずいぶん安いと思ったが、だからこそ香港では普通の人でも簡単に家政婦が雇えるのだろう。

台湾でも興味深い光景を目にした。私の台湾の友人の実家に行った時のことだ。実家は相当な田舎

## 外国人の住み込み家政婦

香港に駐在している日本の方に聞いたところでは、香港のマンションでは、2畳から3畳程度の家政婦部屋がついたマンションも多々あるようだ。家政婦を利用するのが当たり前という生活になっているようだ。

このホテルの従業員は、家政婦

が使えるという。

聞いたところでは、台湾では、3人以上の子供あるいは80歳以上の同居の高齢者がいるところでは、インドネシアやベトナムなどの外国人の家政婦を雇うことができるそうだ。子育てや介護への支援となっている。

残念ながら、日本は香港や台湾などとまったく違う状況だ。介護や育児で外国人の家政婦を活用することはほとんど不可能である。日本人の住み込みの家政婦を雇おうとすれば目の玉が飛び出るような料金となってしまふ。だから誰もそつした人を雇うことをしない。

## 日本も特区で雇用の動き

結果的に介護や育児の負担が国

民に重くのしかかることになる。私の周りにも、まだ仕事ができる有能な人材でも、親の介護のために仕事を辞める人が結構たくさんいる。介護のために仕方がないとはいえ、もったいない話だ。

日本でも、やっとな特区の制度を利用して外国人の家政婦を利用する動きがはじまっている。ただ、大阪や東京などの一部の地域で、まだ本格的な動きとなっているわけではない。いろいろと使いにくい制度となっているようだ。

こうした制度はもっと広げていく必要があるだろう。介護離職をなくし、保育園の待機児童をなくすのが、安倍内閣の目標となっているが、そのためには外国人材をもっと活用するのが有効だと思う。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。